

平成 30 年度次世代の人づくりプラットフォーム展開事業

# あおり型ライフシフト県民意識調査 報 告 書

平成 3 1 年 3 月

青森県企画政策部

## 1 調査の概要

### (1) 調査の名称

あおもり型ライフシフト県民意識調査

### (2) 調査の趣旨

本調査は、「人生100年時代」と呼ばれるような超長寿命社会の到来を念頭に置いて、県民が自らのライフデザイン（人生観）やキャリアデザイン（職業観）をどのように捉えているか把握し、この結果等を用いて情報発信することを通じて、県民全般における生涯活躍の気運醸成や、人生100年時代における多彩な活躍スタイルの浸透を目的として実施したものである。

### (3) 調査対象

母集団 県内在住の20歳以上70歳未満の一般県民

標本数 1,000人（市部居住者500人、町村部居住者500人）

### (4) 調査方法

上記母集団から、男女バランス、地域バランス、年齢バランス等を考慮した上で、無作為に抽出した方へ調査票を送付し、直接記入していただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、無記名で回収した。

・調査票の発送 平成31年2月8日

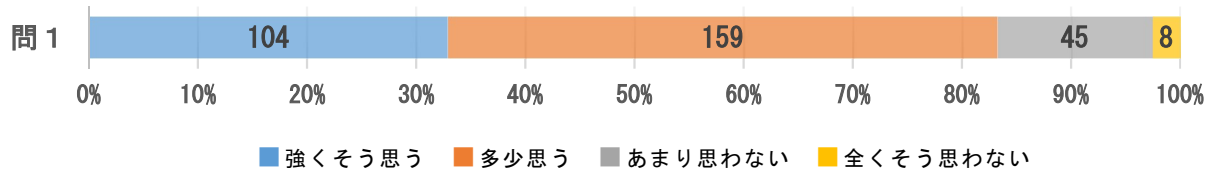
・回答期限 平成31年2月28日投函分まで

### (5) 回収結果

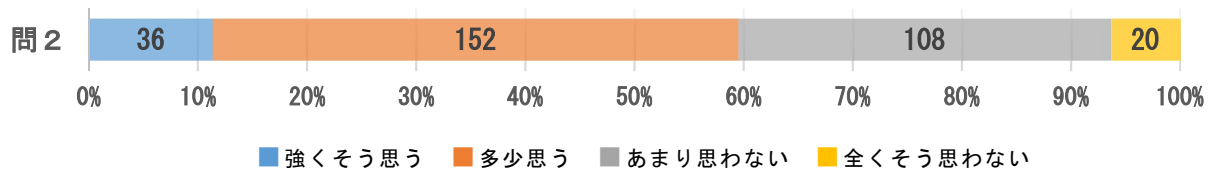
回答数（率） 316人（31.6%）

## 2 調査の結果

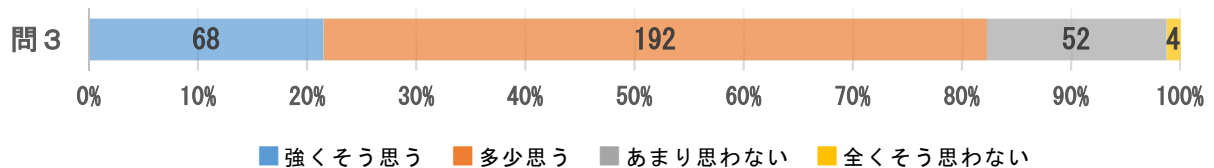
問1 寿命の延伸に伴い、人生の中で自由に使える時間が拡大することは、好ましいことだと思う。



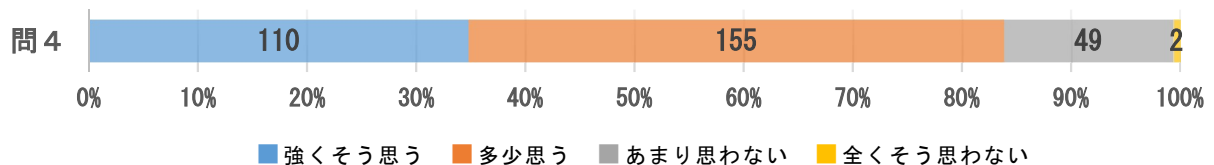
問2 寿命の延伸に伴って拡大した自由な時間を、自分は有意義に使う自信がある。



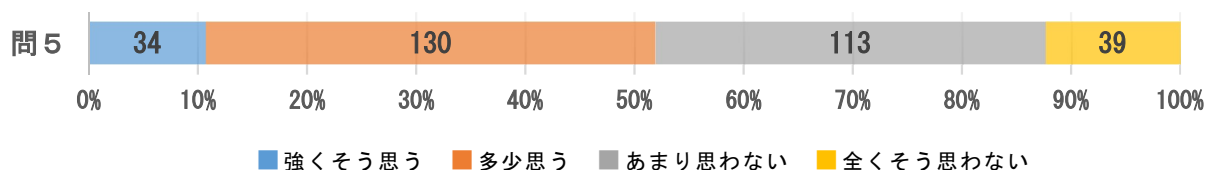
問3 生涯にわたって健康に活躍するために、若いうちから自分の「健康づくり」に時間とお金をかけることは大事なことだと思う。



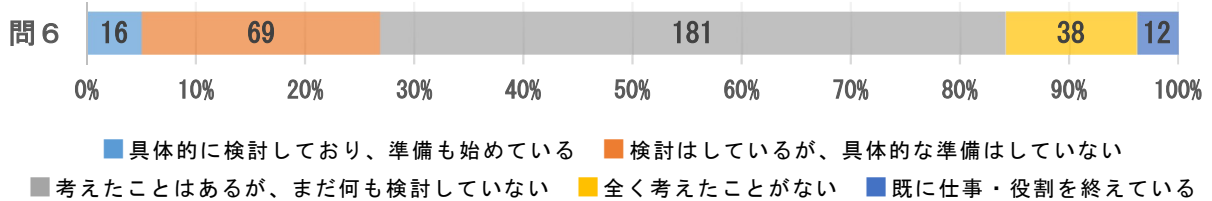
問4 生涯にわたって健康に活躍するために、何歳になっても新しいことにチャレンジすることが大切だと思う。



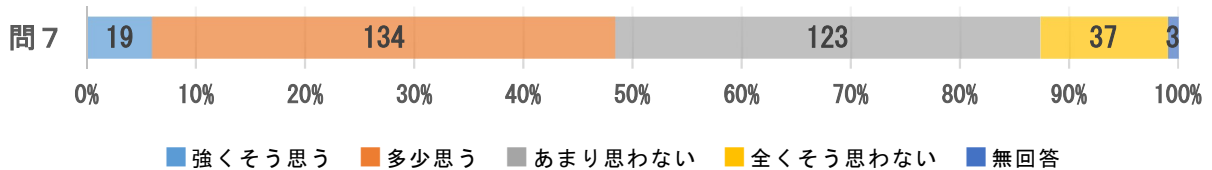
問5 現在の暮らしは、「仕事」と「生活」のバランス（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると思う。



問6 現在の仕事・役割を終えた後、どのように人生を過ごすか具体的に検討している。



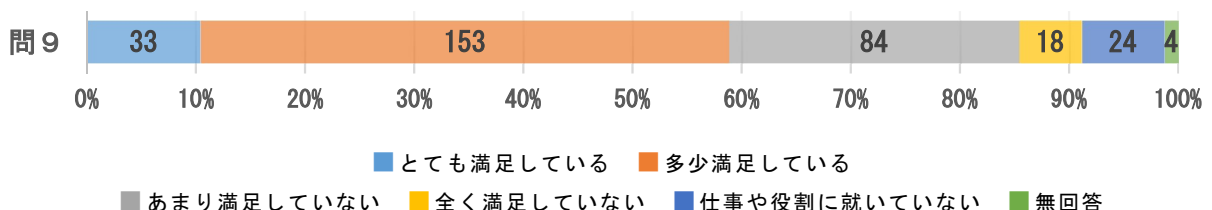
問7 現在の仕事・役割を終えた後も、充実した暮らしを送ることができると思う。



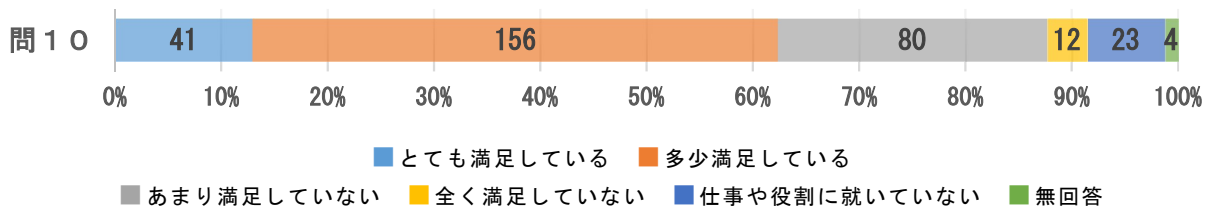
問8 人生 100 年時代の到来を踏まえ、これからの自分自身の人生を更に充実させるために重要だと思うことは何ですか。重要だと思うものを3つ以内で選んでください。

1 現金等の資金貯蓄	236
4 家族の絆、家族との時間	157
3 趣味の充実	146
6 食事や運動などの生活改善	119
5 定期的な健診・人間ドック等の受診	85
1 1 職場や家族以外の人との交流	48
1 3 地域活動やボランティア活動への参加	32
7 読書、個人的に関心がある分野の勉強	28
8 これまでの職歴で得た知識・技術・人脈等の整理	17
2 株・証券・不動産などの資産運用	9
1 2 職場の外で行われる研修や勉強会への参加	8
1 4 その他	8
1 5 何もする必要はない	3
9 キャリアコンサルタント等の専門家への相談	1
1 0 職場内の研修や勉強会への参加	0

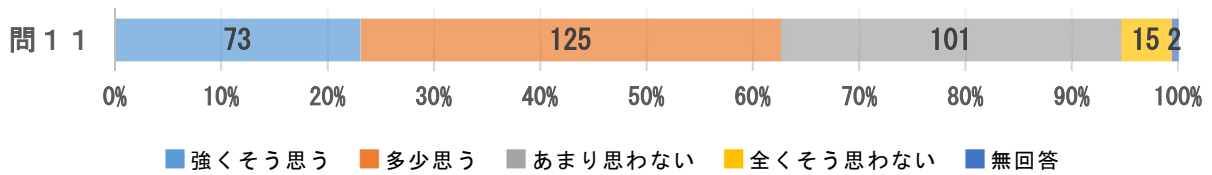
問9 現在の仕事や社会の役割に「満足」している。



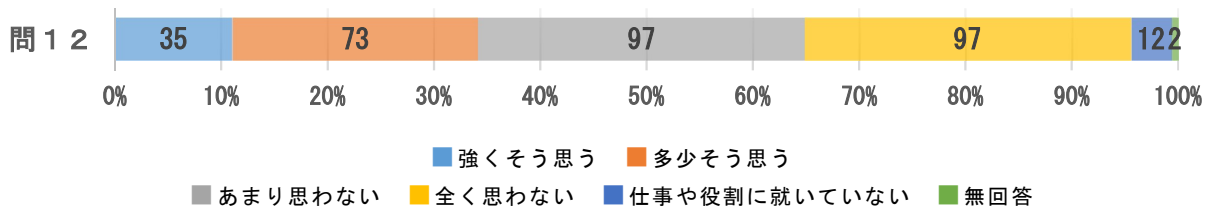
問10 現在の仕事や社会での役割に「やりがい」を感じている。



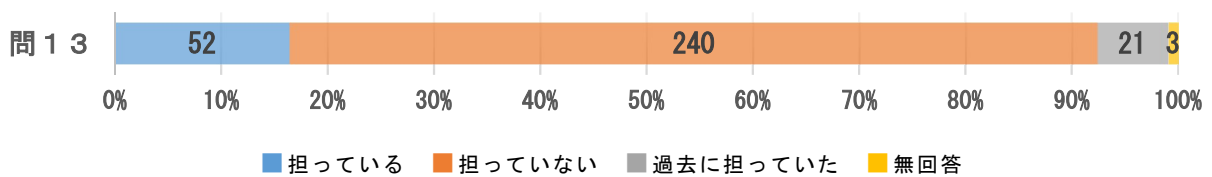
問11 県外には本県よりも高い「満足」や「やりがい」が得られる仕事や役割があると思う。



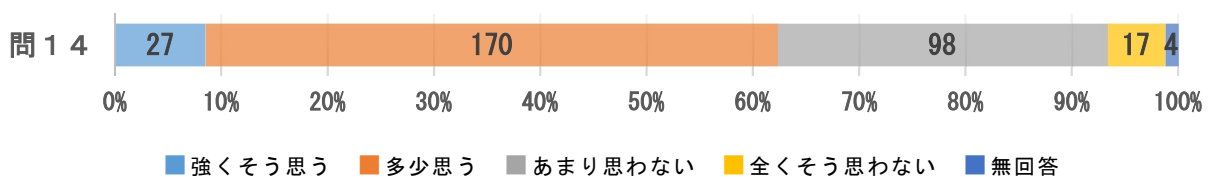
問12 自分にとってより高い「満足」や「やりがい」を得られる仕事・役割が得られるなら、今からでも県外に引っ越すなど、大きく環境を変える決断もあり得ると思う。



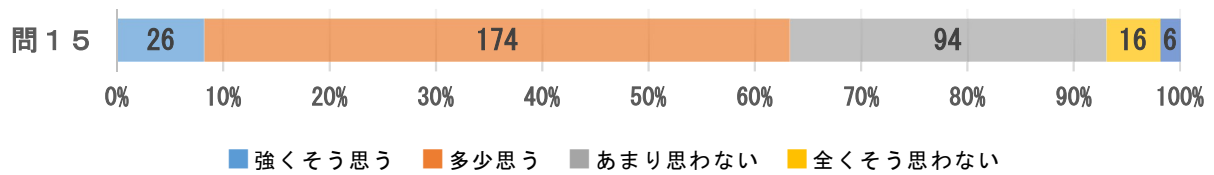
問13 現在、主たる仕事・役割のほかに、副職や役割などを担っている。



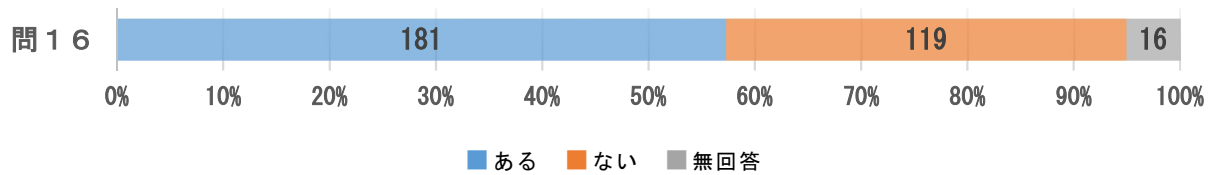
問14 副職・役割を持つことは、主たる仕事・役割にも良い影響があると思う。



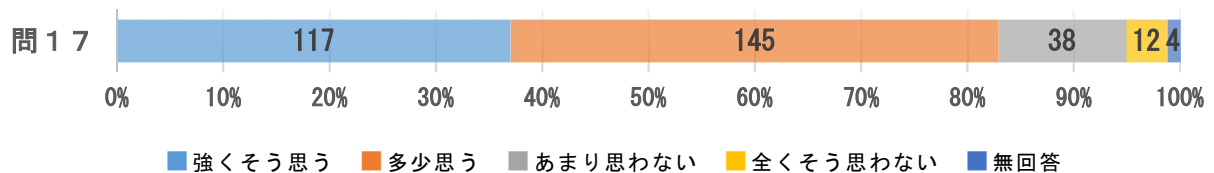
問 1 5 副職・役割を持つことは、自分や家族の生活にとって良い影響があると思う。



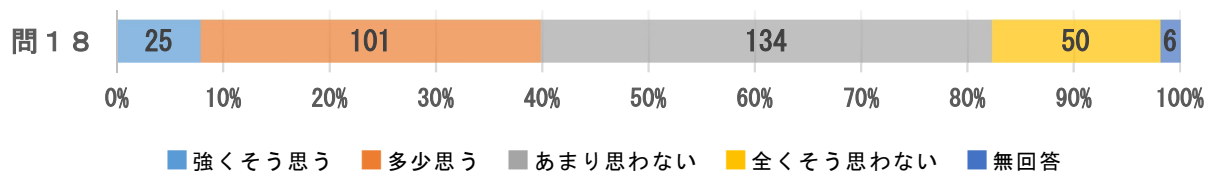
問 1 6 現在の仕事・役割には定年がある。



問 1 7 定年の有無にかかわらず、働けるうちは働きたいと思う。



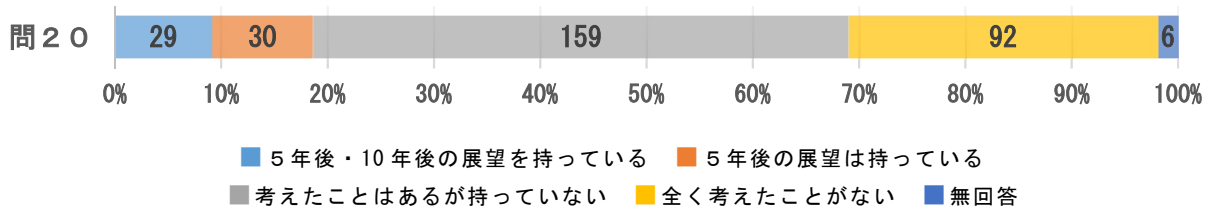
問 1 8 定年後（又は高齢になったとき）は、現役時代と似たような職種・内容の仕事に就きたいと思う。



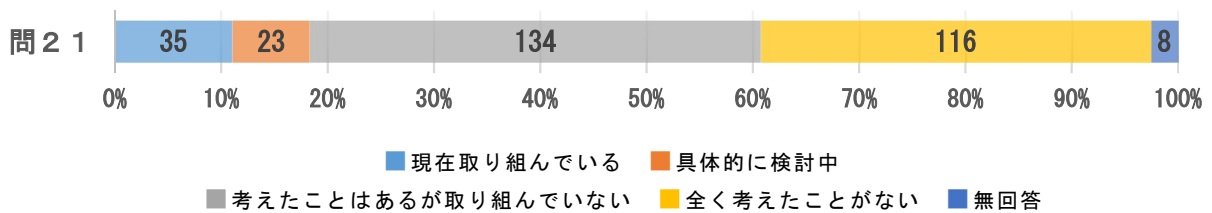
問 1 9 定年後（又は高齢になって）も働き続けるために、現役のうちから必要な取組は何だと思いますか？（複数選択可）

1 資格の取得	163
6 人脈・コネクションづくり	130
7 常に最新の情報に敏感でいること	109
3 健康のために時間とお金をかけること	107
5 ITに関する知識・技術の習得	73
4 語学の習得	55
2 複数の仕事を持つ	19
8 その他	17

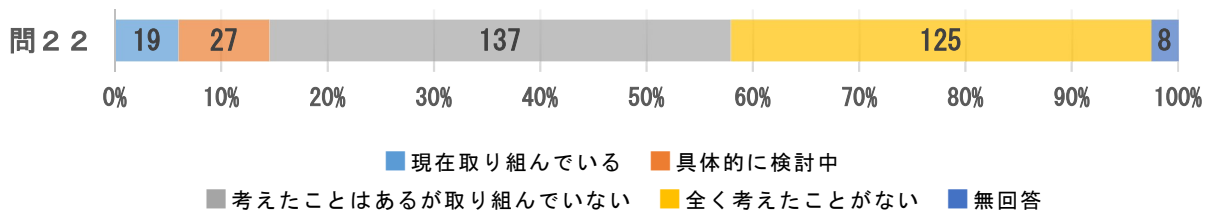
問 2 0 5年後・10年後に、自分はこのような姿で活躍したいという、具体的な「キャリア展望」を持っている。



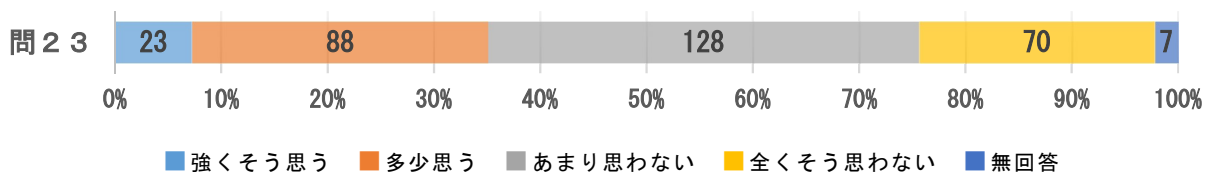
問 2 1 自分のキャリアアップのために、自分が自由に使うことができる時間に、現在の仕事等に関連する分野の勉強や活動をしている。



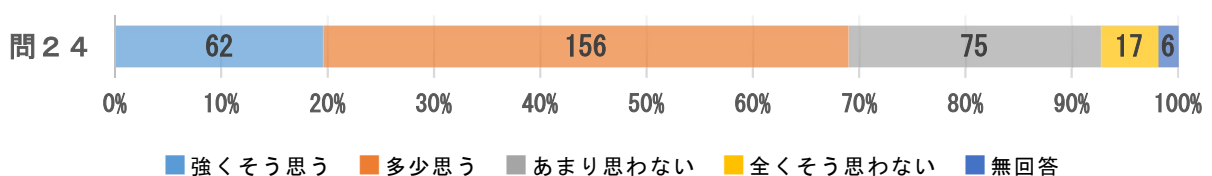
問 2 2 自分のキャリアアップのために、自分が自由に使うことができる時間に、現在の仕事等とは別の分野の勉強や活動をしている。



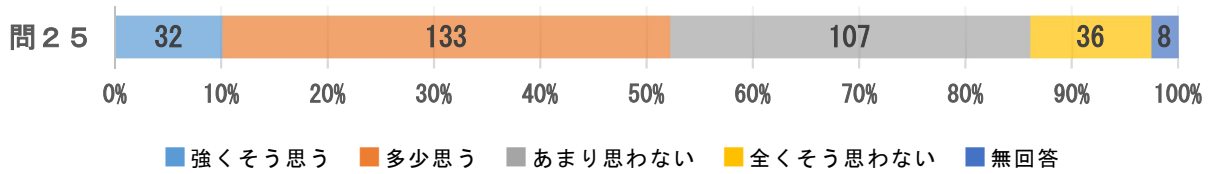
問 2 3 自分の「キャリア展望」を実現するために、必要があれば、積極的に転職や創業・起業を検討してみたい。



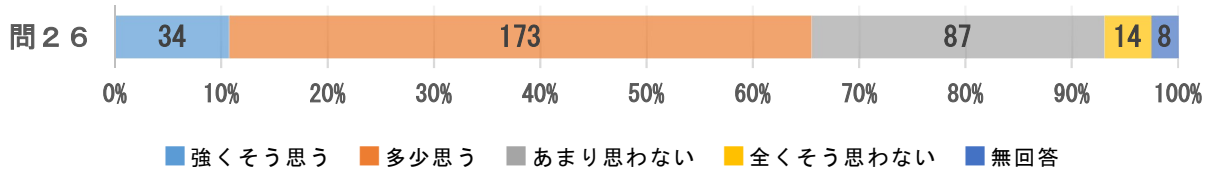
問 2 4 仕事をする上で必要となる知識や技術・技能等について、「学び直し」をする必要性を感じている。



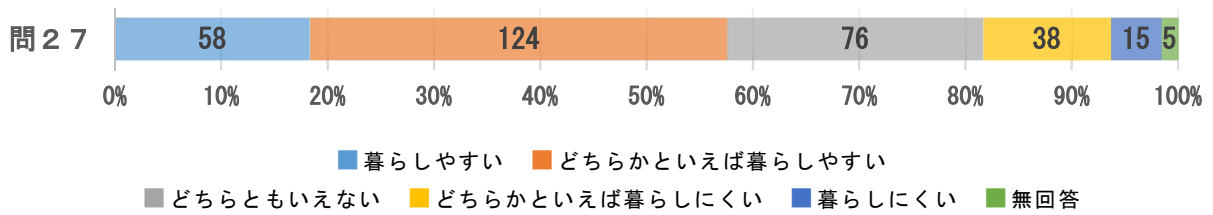
問 2 5 自分が希望する「学び直し」の機会があれば、自ら費用を払ってでも、積極的に参加したいと思う。



問 2 6 県内の様々な団体・機関等が提供する学習・研修機会や、書籍・インターネットを通じて提供される情報等の活用により、県内でも十分に「学び直し」はできると思う。



問 2 7 あなたにとって、現在居住している地域は「暮らしやすい」と思う。



問 2 8 より「暮らしやすい」生活ができるなら、今から県外に引っ越しても良いと思う。

